



アルミブラインド アルミブラインド テンションタイプ

取扱説明書 No.1-220003

初版

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくためによくお読みいただき、大切に保管してください。

目 次

■ 安全上のご注意	2
■ 製品全体図及び部品名称	5
■ 製品の取付け/取外し方法<アルミブラインドの場合>	6
■ 製品の取付け/取外し方法 <アルミブランドテンションの場合>	9
■ 操作方法	13
■ メンテナンスシール	18
■ “故障かな”と思ったら	18
■ 材質表示	19
■ お手入れ方法	19
■ 梱包材の処理方法	19

安全上のご注意(必ずお守りください)

※本書は、お買い上げいただいた製品を正しく安全にご使用していただくために特に注意していただくことを表示してあります。取付け前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

- 本書では、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる、危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。



注意

製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- 本書では、お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する図記号です。



製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する図記号です。

■取付け上のご注意(取付け前に必ずお読みください)



警告

- 付属のブラケット取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。木部は2.5cm以上の厚さが必要です。
- ❗ 本製品を取付ける下地の強度や材質を確認し、施工してください。確実に下地に取付けていない場合は落下の原因になります。
- ❗ 取扱説明書に記載されているブラケット取付け数量と取付け位置、取付け方法は必ずお守りください。本体が落下する恐れがあります。
- ❗ アルミブラインドテンションタイプは、下地のある場所に取付けてください。下地がない場所に取付けると、取付け面の歪みなどによりテンションが充分にかからず、製品が落下する恐れがあります。また、中空構造のユニットバスなどに取付けると、強いテンションがかかるために取付け面の樹脂サッシなどが破損する場合があります。



注意

- 本製品は屋内用です。屋外へは取付けしないでください。
- アルミブラインドは、高温多湿の条件下や水に濡れることが予想される場所へは取付けしないでください。
- アルミブラインドテンションは、サウナやサンルームのような、高温になる場所へは取付けしないでください。
- ❗ 製品は、水平に取付けてください。

■使用上のご注意(ご使用前に必ずお読みください)



警告

- 子供は思わぬ行動をとります。大人の常識は通用しません。お子様をコードやチェーンで遊ばせないでください。
- コードやチェーンが体に巻きついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。
- 小さなお子様がいるご家庭では、ブラインドやスクリーンのコードやチェーン類の近くに、ソファやベッドを置かないでください。ソファやベッドに上があれば手が届き、事故の恐れがあります。
- ❗ 操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でコードをコードフックで留めてください。
- 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- 急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下や、破損などの恐れがあります。



注意

- ❗ 昇降操作は必ず昇降コードで行ってください。スラット(はね)やボトムレールを持って昇降操作を行うと、製品の破損や故障の原因になります。
- 強風の時は、スラット(はね)を降ろした状態で窓を開けないでください。
- 開閉動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。



- スラット部(はね部)を不用意に触らないでください。手を切る等のケガをする恐れがあります。
- メカ部の分解や可動部への注油は、破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
- ❗ 加湿器は製品から離してご使用ください。製品近くで加湿器を使用しますと、水道水のミネラル成分等が白い粉となり、製品に付着して動作不良等の原因となる場合があります。



❗ 取付ける前に取付け場所をご確認をください。

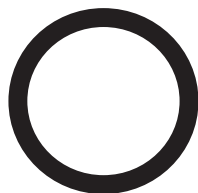
アルミブラインド

■ 取付け可能な場所

- 厚さ2.5cm以上の、木部のある窓、木製のカーテンボックス。
※板厚が2.5cm未満の場合は木ネジの先端が突き抜けます。
- カーテンレール(カーテンレール取付け金具を使用)
C型、角型の金属製カーテンレール



※製品サイズによっては、カーテンレールに取付けできません。
詳しくは、P.5「カーテンレール取付け金具対応表」をご参照ください。
※カーテンレールに取付ける場合、カーテンレールが確実に取付けられていることを、必ず確認してください。製品が落下する恐れがあります。



■ 取付けできない場所

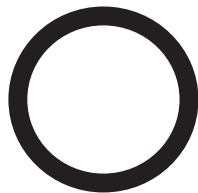
- 木部がない窓
サッシ、金属性の窓枠、浴室、タイルばりの壁
- ポールタイプ、プラスチック製のカーテンレール
- I型のカーテンレール



アルミブラインドテンションタイプ

■ 取付け可能な場所

- 両側壁面が木部やタイルなど、しっかりとした下地がある場所。



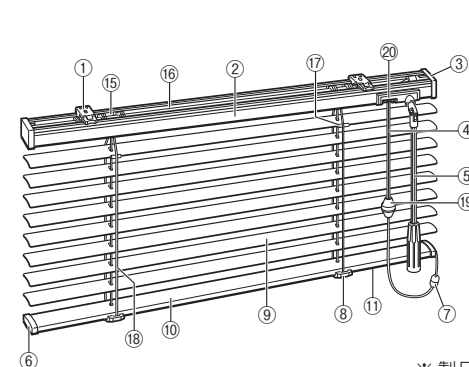
■ 取付けできない場所

- 取付け面の歪みなど、下地がしっかりしていない場所。
- 取付け面が汚れており、両面テープをしっかりと粘着できない場所。
- カーテンレール

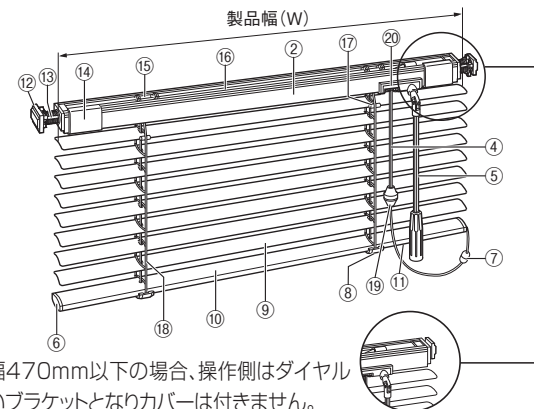


製品全体図及び部品名称

アルミブラインド



アルミブラインドテンションタイプ



部品名

- | | | | | |
|-----------|--------------|-------------|--------------|------------|
| ① ブラケット | ⑤ 回転操作棒 | ⑨ スラット(はね) | ⑬ テンションブラケット | ⑰ スラットクリップ |
| ② ヘッドボックス | ⑥ ボトムキャップ | ⑩ ボトムレール | ⑭ ブラケットカバー | ⑱ ラダーコード |
| ③ ヘッドキャップ | ⑦ セーフティジョイント | ⑪ メンテナンスシール | ⑮ チルトター | ⑲ コード止め |
| ④ 昇降コード | ⑧ ボトムカバー | ⑫ 突き当てプレート | ⑯ シャフト | ⑳ ギア&ストッパー |

■ 付属部品

部 品 名		ブラケット	ブラケット取付けネジ (ナベφ3.5×20)	カーテンレール取付け金具 (ブラケット固定ネジ1本入)	プレートキャップ
製品名 / 製品幅(cm)					
アルミブラインド	～ 128	2 個	2 本	2 個 ※	—
	129 ～ 218	3 個	3 本	3 個 ※	—
	219 ～ 250	4 個	4 本	4 個 ※	—
アルミブラインドテンションタイプ		—	—	—	2 組

※ ネジ類の取付けは、プラスドライバー(No.2)をご使用ください。

※ 製品サイズによっては、カーテンレール取付け金具が付属されません。詳しくは下表をご参照ください。

■ カーテンレール取付け金具 対応表

製品高さ(cm) \ 製品幅(cm)	30～120	121～180	181～200	201～240
30 ～ 120	○	○	○	○
121 ～ 160	○	○	○	—
161 ～ 183	○	○	—	—
184 ～ 250	○	—	—	—

※ ○印の製品サイズには、カーテンレール取付け金具が付属されます。

※ 網掛け部の製品サイズには、カーテンレール取付け金具は付属されません。

- 製品重量(目安) アルミブラインド……3.4kg (幅200cm 高さ200cm)
アルミブラインドテンション…1.5kg (幅100cm 高さ100cm)

製品の取付け/取外し方法

<アルミブラインドの場合>

■ 壁に取付ける場合

⚠ 警告

- ⊘ 木部以外には、取付けできません。木部は2.5cm角以上の厚さが必要です。

■ 窓枠(幅2.5cm以上)に取付けける場合

⚠ 警告

- ⚠ 窓枠の幅が2.5cm以上ない場合は、壁(木部)に取付けてください。
- ⊘ 木製以外の窓枠(樹脂製化粧枠等)には取付けできません。
- ⊘ 壁に確実に固定されていない窓枠(接着剤やクギ等で取付けられた化粧枠等)には取付けできません。

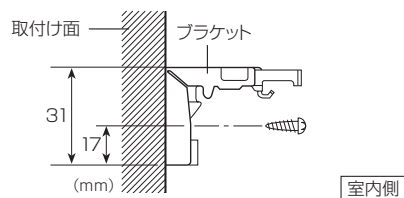
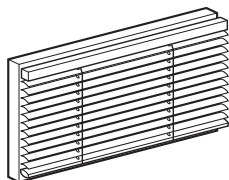
■ カーテンレールに取付けける場合

⚠ 警告

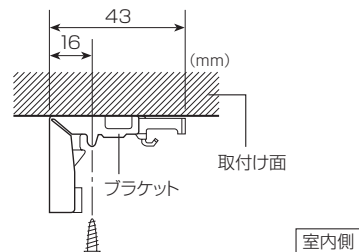
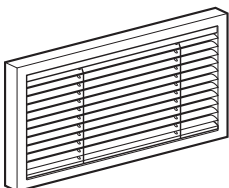
- ⊘ 壁に確実に固定されていないカーテンレールには取付けできません。
- ⊘ 室内側のレールには、取付けられません。

■ 取付けの種類

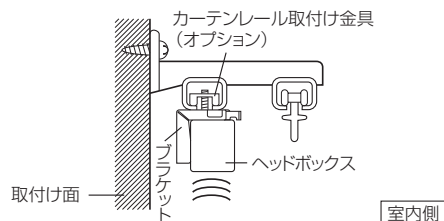
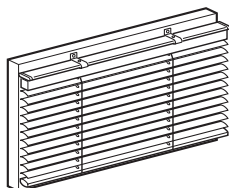
<正面付けの場合>



<天井付けの場合>



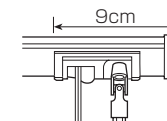
<カーテンレールに取付ける場合>



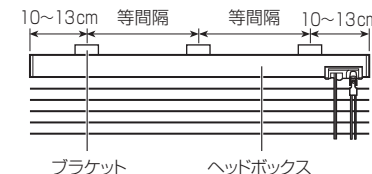
■ ブラケットの取付け位置

⚠ 注意

- ⚠ ヘッドボックスの端部から9cmは、ギアスペーサーがあるためブラケットは取付けられません。



- ① ブラケット取付け面が水平であることを確認してください。
- ② ブラケットはヘッドボックスの両端から各10～13cmの位置に取付けてください。
- ③ ブラケットが3個以上の場合はその間が等間隔になるよう取付けてください。



⚠ 注意

- ⚠ ブラケットの取付け位置を必ずお守りください。製品が故障・落下する恐れがあります。

■ ブラケットの取付け方法

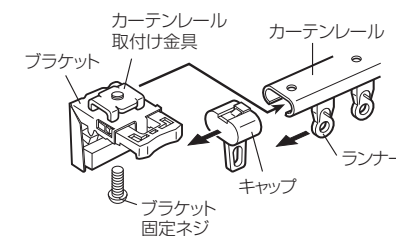
- P.6の「取付けの種類」の図を参考にして、ブラケットを付属のブラケット取付けネジで取付けてください。

<カーテンレールへの取付け方法>

⚠ 警告

- ⊘ 壁に確実に固定されていないカーテンレールには取付けできません。

- ① カーテンレールからキャップとランナーを抜いてください。
- ② カーテンレール取付け金具(オプション)をブラケットの上に置き、下からブラケット固定ネジで仮止めてください。
- ③ 仮止めたカーテンレール取付け金具をカーテンレールの溝に入れ、左右のバランスを見てブラケット固定ネジを締めて固定してください。
- ④ カーテンレールにキャップを取付けてください。

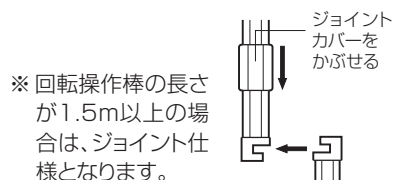
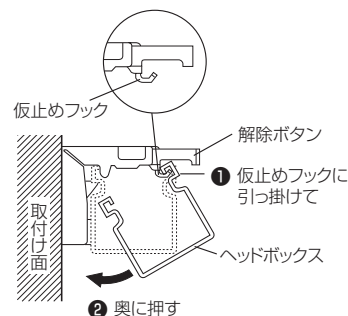


※ 注意

製品サイズによっては、カーテンレールに取付けできません。
詳しくは、P.5「カーテンレール取付け金具対応表」をご参照ください。

■ 本体の取付け方法

- ① ヘッドボックスをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。
- ② ヘッドボックスを奥に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

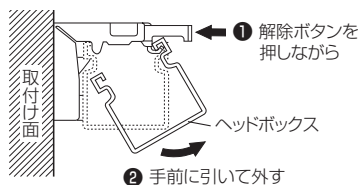


⚠ 注意

- ① ヘッドボックス取付け後、確実にヘッドボックスがブラケットに固定されていることをご確認ください。取付けが不十分な場合はブラケットの解除ボタンが引っ込んだ状態になっていますので、再度確実に固定してください。

■ 本体の取外し方法

- ① スラット（はね）をたたみ上げた状態でブラケットの解除ボタンを押しヘッドボックスを手前に引いてください。
- ② ヘッドボックスを仮止めフックから外してください。



⚠ 注意

- ① ブラケットからヘッドボックスを取外す際は、必ず本体を手で支えながら作業してください。

製品の取付け/取外し方法

<アルミブラインドテンションタイプの場合>

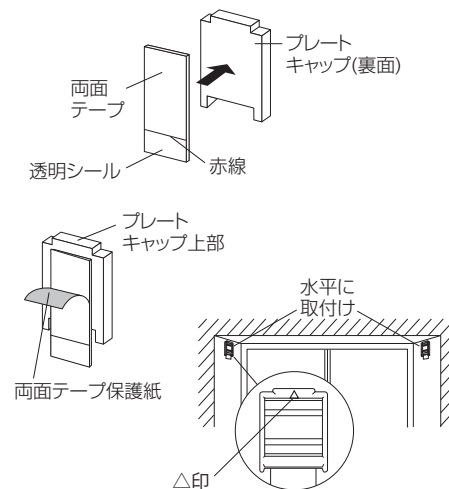
⚠ 注意

- ① 取付ける前に、壁面の汚れ、油分、水滴などをふきとって湿気のない状態にしてください。汚れや水分などが残っていると両面テープの粘着力が低下し、製品が落下する恐れがあります。
- ① タイルに取付ける際は、プレートキャップがタイルの目地にかからないように取付けてください。プレートキャップが目地にかかると、両面テープがはがれ、製品が落下する恐れがあります。
- ① 壁紙の種類によっては両面テープをはがす際に壁紙がはがれる場合がありますので、ご注意ください。
- ① プレートキャップは必ず左右が水平になるように取付けてください。製品が傾いたままでは取付けると落下する恐れがあります。

■ 製品の取付け方法

- ① 取付け面の汚れ、油分、水滴などをきれいにふきとって湿気のない状態にしてください。また、プレートキャップの背面もふきとってください。
- ② 付属の両面テープをプレートキャップの裏面に貼り付けてください。その際、赤線がある側を下にし、両面テープの上面をプレートキャップ上面に合わせて貼ってください。両面テープの赤線が、プレートキャップの下部より下に出た状態になります。(下に出たテープ部は製品取外しの際に必要となります。)
- ③ プレートキャップに付いている両面テープの保護紙をはがし、△印を上にして左右が水平になるように壁面両側に貼り付けてください。

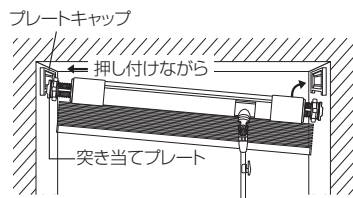
※ 両面テープ端部の透明シールは絶対にはがさないでください。取外しの際、必要になります。



⚠ 注意

- ① 取付け面にプレートキャップ全面を強く押し付け(5秒以上)、しっかり貼り付けてください。貼り付けが不十分だと、製品が落下する恐れがあります。

- ④ 操作側と反対方向の突き当てプレートでプレートをプレートキャップに押し付けながら、操作側の突き当てプレートをはめ込み仮止めにしてください。

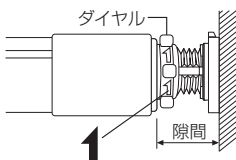
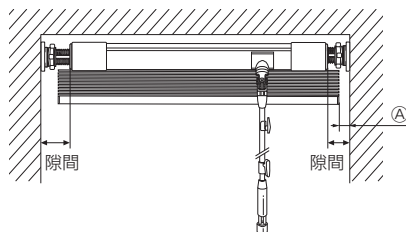


⚠ 注意

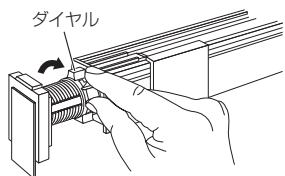
- ❗ 本体をしっかり両手で持ちながら、作業してください。
- 🚫 仮止め中はブラインドを操作するなど、本体に負荷をかけないでください。落下する恐れがあります。

- ⑤ 操作側のダイヤルを矢印の方向へ回し、左右の隙間が均等になるように調整してください。

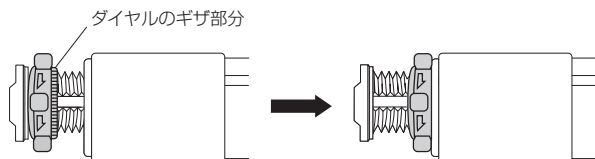
※ 製品幅470mm以下の場合、操作側はダイヤルのないブラケットになりますので、調整はできません。壁面からスラット端部までの④寸法は4mmとなります。



- ⑥ 操作側と反対方向のダイヤルを矢印の方向へ固くなるまで回し、本体を確実に固定してください。



下図のようにダイヤル根元のギザ部分が見えなくなり固くなるまで回してください。



⚠ 注意

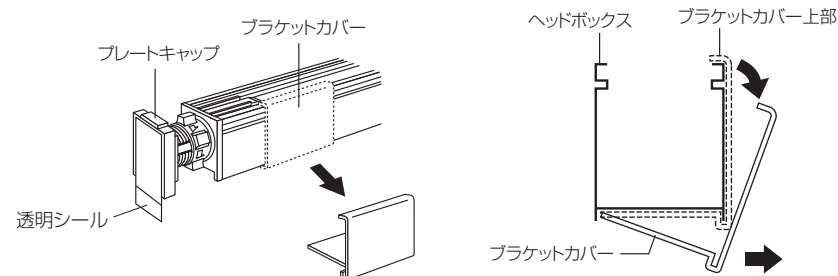
- ❗ 本体取付け後、突き当てプレートがプレートキャップに確実に止まっていること、ダイヤルが確実に締まっていることを確認してください。確実に固定されていないと本体が落下する恐れがあります。

- ⑦ 下記①、②の手順でテンションブラケット部にブラケットカバーをかぶせてください。

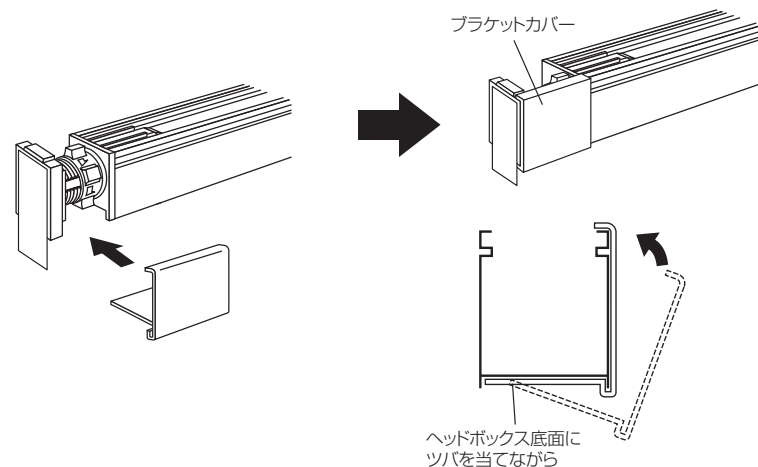
※ 両面テープ端部の透明シールは絶対にはがさないでください。取外しの際、必要になります。

※ 両面テープのプレートキャップから出ている部分は切り取らないでください。取外しの際、必要になります。

- ① ブラケットカバー上部を手前に引いてヘッドボックスから外してください。

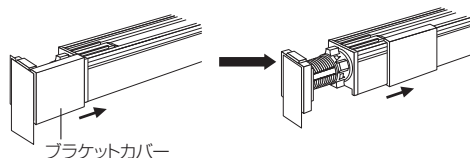


- ② ブラケットカバーはツバの部分をヘッドボックス底面に当てながら、上部を押し付けて取付けてください。

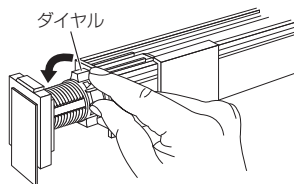


■ 製品の取外し方法

① ブラケットカバーを内側へスライドさせてください。



② スラット(はね)をたたみ上げてください。

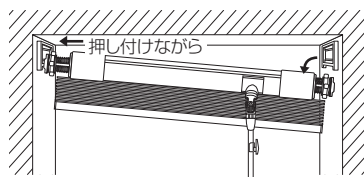


③ 左右のダイヤルを矢印の向きと反対方向に回してゆるめてください。

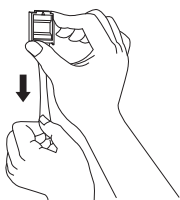
⚠ 注意

- ❗ ダイヤルをゆるめる際は、必ずもう一方の手で本体を支えてください。
- ⊘ ダイヤルをゆるめる際はブラインドを操作したりなど、本体に負荷をかけないでください。落下する恐れがあります。

④ 操作側と反対方向へ本体を押し付けながら、操作側のプレートキャップから突き当てプレートを外してください。



⑤ プレートキャップを手で押さえながら両面テープを真下に引いてはがしてください。(30cmくらい伸びます。)



⚠ 注意

- ❗ プレートキャップを手で押さえながら作業してください。手で押さえずに両面テープを引っ張るとプレートキャップが飛んで思わぬケガをする恐れがあります。
- ⊘ はがした両面テープの再使用はしないでください。
- ❗ プレートキャップを外す際、出ている両面テープを真下に引いてください。両面テープを真下以外の方向に引くと、取付け面を傷めたり、テープがちぎれてしまう場合があります。
- ❗ 両面テープは少しずつゆっくりと引いてください。急激に両面テープを引くと、取付け面を傷めたり、テープがちぎれてしまう場合があります。
- ❗ 壁紙の種類によっては両面テープをはがす際に壁紙がはがれる場合がありますので、ご注意ください。

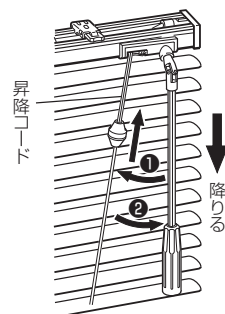
操作方法

⚠ 注意

- ❗ 上げ下げする際はスラット(はね)を水平にした状態で行ってください。スラット(はね)を閉じた状態での上げ下げは、昇降コードの消耗を促進させます。
- ❗ 昇降操作時は、必ず昇降コードを持ちながら、操作を行ってください。
- ⊘ スラット(はね)を無理に閉じようとししないでください。無理な操作はギアなどの部品を破損する原因となります。
- ❗ スラット(はね)を降ろすときは必ず昇降コードに手を添えて操作してください。途中で手を離すとスラット(はね)が勢いよく降りることがあり危険です。

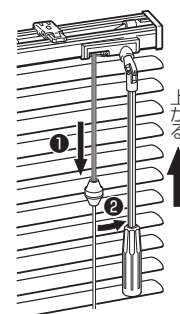
■ ブラインドの降ろし方

- ① 昇降コードを内側にすこし引き、手をゆるめると降ります。
- ② 昇降コードを外側にすると止まります。



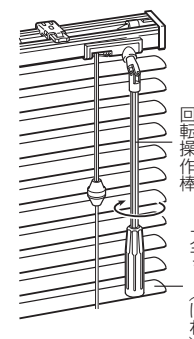
■ ブラインドの上げ方

- ① スラット(はね)を水平にして昇降コードを真下に引くと上がります。
- ② 昇降コードを外側にすると止まります。



■ スラット(はね)の角度調節

- 回転操作棒を回して調整してください。

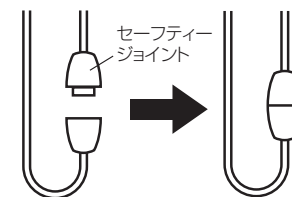


■ セーフティジョイントについて

⚠ 警告

- ⊘ お子様を操作コードで遊ばせないでください。首や体に巻き付く等して思わぬ事故を招く恐れがあります。

- セーフティジョイントは操作コードがお子様の首や体に巻き付いた場合、危険を回避する為に、昇降コードを分離させるための部品です。
- セーフティジョイントに力がかかったり、セーフティジョイントの近くを持って操作すると、セーフティジョイントが外れます。セーフティジョイントが外れた場合は、そのまま使用せずに、再びはめ直してからご使用ください。



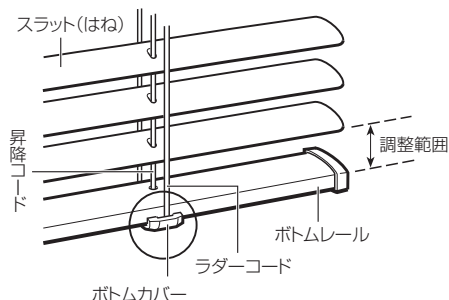
高さ調整方法

●ブラインドを全て降ろした際、ボトムレールが窓枠等にぶつかる場合、ブラインドの高さを一番下のスラット(はね)の高さまで短くできます。

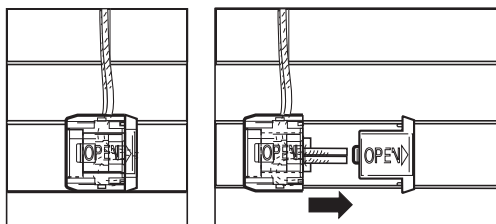
●高さ調整はボトムカバー部で行います。

※昇降コードが付いているボトムカバーを全て同様に調整してください。

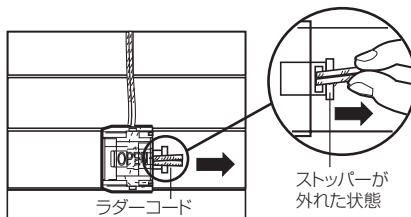
昇降コードの付いていないボトムカバーは、高さ調整機構のないボトムカバーです。



① ボトムカバー面の OPEN▶印を押しながら、→の方向へスライドさせてください。

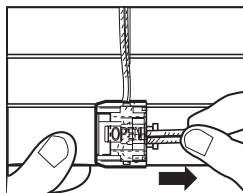


② ラダーコードを引っ張るとストッパーが解除されます。

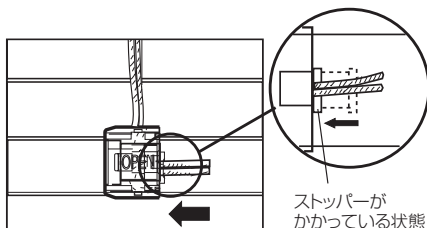


③ ラダーコードを調整したい長さだけ引き出してください。

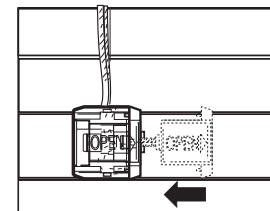
※ラダーコードの1ピッチ(約2cm)分を短くできます。元の高さに戻すことも可能です。(長くすることはできません)



④ 「カチッ」と音がするまでストッパーを押し込んでください。

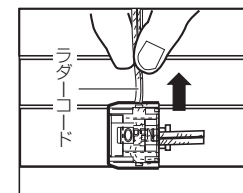


⑤ ボトムカバーを元の位置 (OPEN▶と逆方向) へ戻してください。



〈元の高さに戻す方法〉

●ストッパーを解除した状態で、ラダーコードを引っ張り出してください。



操作位置の変更方法



注意

- ❗ 操作位置の変更作業の際は、ヘッドボックスの端部や切込み口、スラット（はね）などでケガをしないよう十分注意してください。

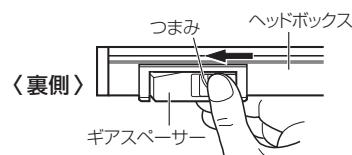
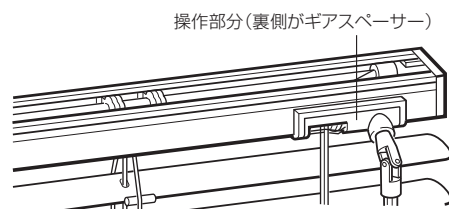
- 以下の手順で、左操作を右操作に、右操作を左操作に操作位置を変更することができます。

※ イラストはアルミブラインドですが、アルミブラインドテンションタイプも同様です。

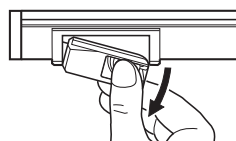
＜右操作から左操作への変換の場合＞

※ 本体をブラケットから取外して作業してください。この時スラット（はね）は完全にたたみ上げずに少し降ろした状態にしてください。

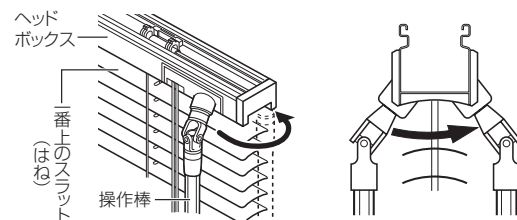
- ① スラットを少し降ろしヘッドボックスの裏側から、ギアスペーサーのつまみ部分を左側へスライドさせてください。



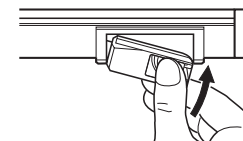
- ② ギアスペーサーを少し手前に引くような感じで下側に引き、ヘッドボックスから外してください。



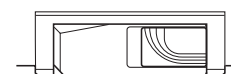
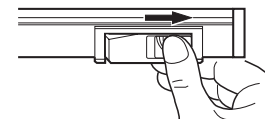
- ③ スラット（はね）の折れに注意しながら、操作部分（昇降コード、回転操作棒）をヘッドボックスと一番上のスラット（はね）の間を通して後ろ側に回してください。



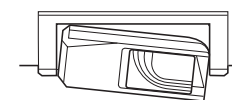
- ④ ギアスペーサーの左の突起部分を、ヘッドボックスに引っ掛け再セットしてください。



- ⑤ きちんとセットされているかどうか、ご確認ください。



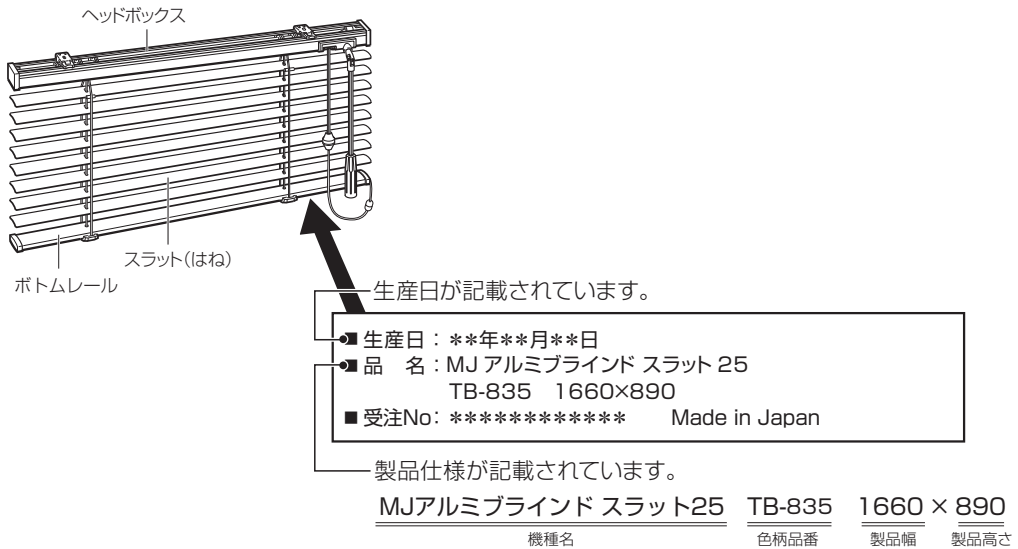
つまみ部分がしっかり戻っていたらOK。



戻っていなかったら不完全です。

メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、ボトムレール底面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



“故障かな”と思ったら

■ こんなとき

現 象	原 因	処 置
● ブラインドが斜めになってしまった。	昇降コードが均一に保持されていない。	● 下降操作を数回行い、ブラインドを水平にしてください。
● 昇降コードを操作することができない。	昇降コードが絡み、結び目ができている。	● 昇降コードに結び目ができていないか確認し、それを引き出すようにコードタッセルを引いてください。引き出した結び目をほどくと正常に操作できます。
● たたみ上がったままストッパーが解除できない。	昇降コードが強く引かれた状態でストッパーが機能している。	● 昇降コードまたはコードタッセルを持ちながら、その上の昇降コードを1本ずつ引いてストッパーを解除してください。

材質表示

- スラット(はね)：アルミニウム

お手入れ方法

■ スラット(はね)部分

- ① 洗剤で使用する場合は台所用中性洗剤を薄めてお使いいただき、その後必ず水拭きしてください。必ずやわらかいスポンジなどをご使用ください。その他の洗剤やシンナーなどは使用しないでください。
- ② スラット(はね)の端面で手を切らないように、お手入れの際は軍手等をつけ十分ご注意ください。
- ③ 日頃から羽根ばたきや化学モップ等でこまめにお手入れしてください。長期間油気が付着すると、塗装が剥離することがありますのでご注意ください。

■ 製品部分

- シンナー等で拭いたり薬品等を使用しますと変色、変形の原因になりますのでご注意ください。
- 製品の汚れはきれいなやわらかい布でから拭きしてください。

梱包材の処理方法

**警告**

 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。